

「永遠への成長を促すもの」

(ペテロの手紙第一章22節～2章3節)

牧師：原 雅幸

序)「平家物語」と「イザヤ40章」そして「福音」

- ・「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」と「人はみな草のよう、その栄はみな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る」には類似点がある。
- ・「しかし、主のことばは永遠に立つ」が決定的に違う。「永遠」の存在が、一人一人を大切にする愛の土台となっている。
- ・永遠の存在が、イエス・キリストの復活によって明らかにされている。



1) 福音にふさわしく聖なる者として生きるために

- ・「互いに愛し合う」ことは、聖を目指す者たちにとって当然のこと。教会の兄弟姉妹は隣人であると同時に、キリストのからだとして神のもの。
- ・「たましいが清められた」者…全存在が、神に受け入れられているということ。その人の今の状態とは無関係に、兄弟姉妹であるという事実。
- ・「偽りのない兄弟愛を抱くようになった」…愛の種を受け取っているという意味と、「偽りのない兄弟愛」という花を咲かせられるという意味。
- ・「きよい心」…動機は、自分のためではなく相手と神の栄光のため

2) 「愛し合う」とは何だろうか。

- ・男女の愛である「エロース」は聖書では用いられない。
- ・「愛し合う」は「アガペー」、「兄弟愛」は「フィリア<フィラデルフィア>」
- ➡相手の人格をより高くするために賢く与えること。「切磋琢磨」に近い。
- ・お互いが、イエス様の姿により近づいていくために、安全な関係を築き、相手の必要をよく聞いて受けとめ、徳を高めるために助言を与え、忍耐をもって祈り支える。
- ・誰一人完成している人はいないから、誰からでも学べる。誰のことも愛することができる。マウントの取り合いは放棄しなくてはいけない。

3) 愛し合うことで、成長する～自分を守る必要がなくなる～

- ・互いを信頼することを学ぶとき、悪意を探ることから解放される。
- ・本当の姿を見せたら拒否されるとの怯えがなくなっていくほどに、偽りと偽善から離れることができ、自分を受け入れる時、ねたみは消える。
- ・心が正しい方法で潤えば「悪口」は要らなくなる。
- ・互いに「監視し合う」のは、愛し合うことではない。



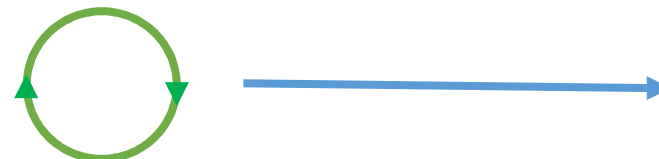
結)「熱く愛し合う」ために

- ・冷える心を温める乳＝神のことばを赤ん坊の自覚をもって飲み続けよう。

名前(_____)

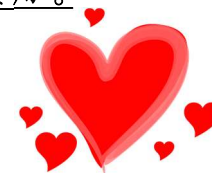
◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

① 聖書の言う「永遠」と、仏教でいう「永遠」を図で表すと、どっちでしょう。



② 聖書の教える「愛」を、別のことばで言うと、どうなるでしょうか。

- () ラブラブな関係のこと
- () 賢く与えること
- () 相手のことを良くすること
- () その他 _____



◆お話を聞いた後で、考えましょう。

* 「悪意」「偽り」「偽善」「悪口」の意味を確認しましょう。この中で、自分がよくやってしまうのはどれでしょう。どうしてでしょうか。

～教会クイズ(教理問答)～

みんなで一週間考えてみよう!

Q027 「十字架につけられ」とは、どのようなことですか。

A027 わたしたちが神さまに _____ され、 _____

に祝福されるために、イエスさまが神さまに _____ われたとい

うことです。

☐ヒント☐ イザヤ 53:1-5、マタイ 27:32-44、マルコ 15:21-32、ルカ 23:26-43、ヨハネ 19:17-27

ローマ 6:5-6、ガラテヤ 3:13